

令和 7 年度使用中学校教科用図書
に関する調査報告書

教科名 数 学

(様式1)

教科用図書調査に関する報告書

教科	数 学
----	-----

発行者 略 称	発行者 番 号	教科書の 記号・番号	教科書名	調査結果の概要
東 書	2	数学 002-72 002-82 002-92	新編 新しい数学 1 ～MATH CONNECT 数学のつながり～ 新編 新しい数学 2 ～MATH CONNECT 数学のつながり～ 新編 新しい数学 3 ～MATH CONNECT 数学のつながり～	・学習指導要領との関連や内容は標準的である。 ・練習問題では、♡のマークがついた問題から解けるようにさせるなど、数学が苦手な生徒への配慮がなされている。 ・デジタルコンテンツが豊富にあり、個別最適な学びの実践ができる。 ・各節の「学びをふり返ろう」では、生徒が数学的な見方・考え方を整理するのに、効果的である。 ・導入部分に、生徒同士で話し合う場面が多く設定されており、主体的・対話的に学ぶ工夫がされている。 (1年 例：P149～) ・「ちょっと確認」では過去の各領域のふり返りやまとめができ、前年度までの学習との関連性を生徒自身が気づき、生かすことができる。 ・答えは一つであっても、生徒が様々な角度から課題解決することができる場面が多くある。 ・単元末に、数学と職業を結び付けたページが多く記載されており、生徒に興味・関心を抱かせる工夫がされている。(1年 例：P186、数学×伝統工芸士) ・教科書の側面にある単元ごとの色分けが見づらく、活用しづらい。

発行者 略 称	発行者 番 号	教 科 書 の 記号・番号	教 科 書 名	調 査 結 果 の 概 要
大日本	4	数学 702 802 902	数学の世界1 数学の世界2 数学の世界3	・学習指導要領との関連や内容は標準的である。 ・1 ページにおけるイラストや挿絵の量のバランスが良い。 ・単元末の『社会にリンク』や『活用・探究』のページ、巻末付録『MATHFUL』において、職業との関連性や SDGs などの今日的課題を取り上げ、生徒の興味・関心を高める工夫がされている。 ・指数や素因数分解といった数の性質に関する語句は、「正負の数」の学習後に学ぶ方がよい。 ・単元のまとめに例示されているが、文字が小さく見づらい。 ・答えは1つであっても、考え方は1つとは限らず、様々な角度から課題解決することができる場面が多くある。 ・解説が丁寧な部分と、少ない部分の差がある。 ・『活用・探究』や『社会にリンク』では、教科を横断した内容であり、興味深い が、難易度はかなり高く、授業内で取り扱うには、やや難しい。 ・説明の文章が多く丁寧でわかりやすい反面、思考力を身につけさせにくい面もある。 ・デジタルコンテンツの量がやや少ない。

発行者 略 称	発行者 番 号	教 科 書 の 記号・番号	教 科 書 名	調 査 結 果 の 概 要
学 図	11	数学 011-72 011-82 011-92	中学校 数学 1 中学校 数学 2 中学校 数学 3	・学習指導要領との関連や内容は標準的である。 ・随所に公式等を繰り返る例が示されており、小学校での学習内容も思い返すことができる。 ・例題に示されている解法に、既習の数学的用語を用いた説明がされており、領域を関連づけた学習に適している。 ・文字や色が全体的にやや薄い。 ・例題等の解答例に罫線が引かれていることで、生徒にとってはノートの書き方が分かりやすい。 ・解き方やヒントが多くわかりやすいが、自由な考えや解き方を見つけさせるのが難しく、賛否両論分かれるところである。 ・デジタルコンテンツ等の種類が少なく、充実しているとは言えない。 ・各章の導入では、既習内容から次の課題へ進む工夫がされている。 ・全体のページ数が多く、丁寧に説明されているが、情報量が多く、各ページの配置もやや見づらい。 ・「さらなる数学」の項では、協働学習や探究学習を行いやすい課題が組み込まれており、「主体的・対話的で深い学び」の実践につながると思われるが、難易度は高く、扱うにはやや難しい。

発行者 略 称	発行者 番 号	教 科 書 の 記号・番号	教 科 書 名	調 査 結 果 の 概 要
教 出	17	数学 017-72 017-82 017-92	中学数学 1 中学数学 2 中学数学 3	・学習指導要領との関連や内容は標準的である。 ・様々な解き方を並列して解説している。(2年 P22、例 5、P23、例 7) ・データの活用において、PPDAC サイクルの考え方がページごとに示されていて、問題解決の流れがつかみやすい。 ・付録のページに、小学校算数との系統が分かりやすく示されており、既習事項との関連付けに活用できる。 ・『数と式』領域の内容ページが他社に比べて多く、学習時間のバランスにやや偏りがある。 ・指数や素因数分解といった数の性質に関する語句は、「正負の数」の学習後に学ぶ方が効率的である。 ・二次元コードよりデジタルコンテンツを活用できるが、種類がやや少ない。 ・全体のページ数は多く、丁寧にまとめられている。 ・各章のはじめに「学習する前に」と「既習事項のふりかえり」と「本章へのつながり」を意識したページが設けられている。 ・思考を問う問題では、学びのプロセスとして、問題をつかむ→見通しをたてる→問題を解決する→話し合ってみよう→振り返る、といった流れで構成されており「主体的・対話的で深い学び」を意識した問題展開がなされている。 ・文字が小さく、行間が詰まっている箇所があり、やや読みづらい。

発行者 略 称	発行者 番 号	教 科 書 の 記号・番号	教 科 書 名	調 査 結 果 の 概 要
啓林館	61	数学 061-72 061-82 061-92	未来へひろがる数学 1 未来へひろがる数学 2 未来へひろがる数学 3	・学習指導要領との関連や内容は標準的である。 ・デジタルコンテンツが非常にわかりやすい。特に音声での説明、解説は授業で理解しきれなかった生徒や、欠席者に対して学びの保障ができる。 ・文字サイズや色づかいが見やすい。例と問いの見分けがつきやすく、学習のまとめもはっきりと示されていて、自主学习にも活用しやすい。 ・単元の導入において、生徒にとって身近な事象が取り上げられており、数学のよさを実感し、生活や学習に生かしやすい内容となっている。(1年 P69:文字式の計算) ・3年 P71～79 の二次方程式の解き方が、「$ax^2=b$」→「解の公式」→「因数分解を使って」の順になっている。「因数分解を使って」→「$ax^2=b$」→「解の公式」の順のほうが、因数分解ができないとき、解の公式を使うという流れで考えることができ、理解しやすく効率的である。 ・利用の問題では、ステップ 1, 2, 3 と段階的に考察し、問題解決に向かう力を身につけられるような工夫が見られる。 ・巻末に高校数学につながる発展的内容の問題が紹介されている。 ・3年「放物線と直線の交点」の問題が、P121 の章末問題と P249 の発展 [高校] のページで扱われており、各領域が関連づけてある良い問題であり、本編で取り上げる必要性がある。

発行者 略 称	発行者 番 号	教 科 書 の 記号・番号	教 科 書 名	調 査 結 果 の 概 要
数 研	104	数学 104-73 104-83 104-93	これからの 数学1 これからの 数学2 これからの 数学3	・学習指導要領との関連や内容は標準的である。 ・各項目において「めあて」が明確に示しており、授業で取り組むべき内容・方向性がわかりやすい。 ・学びをガイドするキャラクター『ルー』の言葉が、既習事項を思い出したり、学びを深めたりするきっかけとなっている。 ・文字が大きく、色合いも暖かく読みやすい。 ・紙面の練習問題の量はやや少ない。例えば「代入法」は2年 P55 問6に1問、問7に1問、合わせて2問のみであり、技能の習得にはやや不十分ではないか。 ・「学んだことを活用しよう」では、日常生活に数学が取り入れられた事例を用いて、考察するページがあり、生徒が興味・関心を持ち、主体的に学ぶ工夫がなされている。 ・デジタルコンテンツが豊富であり、学びが深まる内容になっている。「Link 補充」ではデジタルコンテンツを用いて練習問題に取り組むことができる。 ・「Link イメージ」・「資料」・「考察」・「探究」などアイコンによって内容がわかりやすく表記されている。 ・イラストを活用した解き方のヒントが多くわかりやすいが、自由な考えや解き方を見つけさせるのがやや難しく、賛否両論分かれるところである。 ・文字間隔・行間は標準的で読みやすい。

発行者 略 称	発行者 番 号	教 科 書 の 記号・番号	教 科 書 名	調 査 結 果 の 概 要
日 文	116	数学 116-72 116-82 116-92	中学数学 1 中学数学 2 中学数学 3	・学習指導要領との関連や内容は標準的である。 ・文字間隔・行間が比較的広く、ページ全体のレイアウトに余裕があり、読みやすい。 ・重要な語句、文章が色付けされており、ポイントを押さえやすい。 ・巻末の「対話シート」では協働的な学習につながる工夫がなされており、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫がされている。 ・各項目において「めあて」が明確に示してあり、授業で取り組むべき内容・方向性がわかりやすい。 ・キャラクターの吹き出しや会話などは必要最低限であり、内容に無駄がなくシンプルにまとめている。 ・各章の最後に「次の章を学ぶ前に」といった既習事項と次章をつなぐページがあり、系統を意識した学習への工夫がある。 ・巻末には「補充問題」「総合問題」「活用問題」「ステップアップ」とレベルに合わせた練習問題が豊富に掲載されている。 ・全体のページ数が少なく、構成としては物足りない。 ・「話し合おう」の問題が設定されているが、「主体的・対話的で深い学び」につながりやすい問題はやや少ない。 ・二次元コードよりデジタルコンテンツを活用できるが、種類がやや少ない。

(様式2)

教科用図書調査に関する報告書

数学

観点別評価

「◎」優れている

「○」標準的

「△」やや劣る

選定の観点	選定の視点		東書	大日本	学図	教出	啓林館	数研	日文
学習指導要領との関連	1	学習指導要領に示されている算数科の目標達成に結び付く内容になっているか。	○	○	○	○	○	○	○
	2	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫がされているか。	◎	○	○	○	○	○	○
	3	「知識及び技能」の習得と「思考力・判断力・表現力等」の育成をバランスよく図るための工夫がされているか。	○	○	△	○	○	○	△
	4	言語活動の定着を図るための配慮がなされているか。	○	○	○	○	○	○	○
	5	学習への興味・関心を高めるとともに、学びを深めるために、デジタルコンテンツを適切に活用することができる配慮がなされているか。	◎	△	△	○	◎	○	○
	6	SDGs など、今日的課題が取り上げられ、生徒が興味・関心を持ち、主体的に学ぶとともに発展的な学習も行うことができる工夫がされているか。	◎	○	○	◎	○	○	○
内容	1	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度を育む工夫がなされているか。	◎	◎	○	◎	○	○	○
	2	数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象の数学化や、数学的な解釈、表現・処理する技能が身につくような内容となっているか。	○	○	△	○	○	○	○
	3	4 領域を相互に関連付けて数学的活動に取り組むことができる工夫がなされているか。	○	○	○	○	○	○	△
	4	データを用いて、まとめて解析する問題解決能力を養うことができる内容となっているか。	○	○	○	○	○	○	○
	5	目的に応じて、言葉や数、式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いて、論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりすることができる内容となっているか。	○	○	○	○	◎	○	○
	6	解決の方法や内容、順序を見直したり、自らの取り組みを客観的に評価したりすることができる内容となっているか。	○	○	○	○	○	○	○
構成・分量	1	内容の量と学習時間が適切に配当されているか。	○	○	△	△	○	△	○
	2	生徒の発達段階に即し、系統的、発展的に構成されているか。	○	○	○	○	○	○	○
表記・表現	1	表記や表現について、文書や挿絵、写真等の使用が適切であるか。	○	○	○	○	◎	○	○
	2	文字の大きさ、字間、行間などは適切であるか。	○	△	○	△	○	○	◎
	3	ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、色の使用、紙面の構成などについて、配慮されているか。	○	○	△	○	○	○	○